

有機栽培ねぎ

ハウス・**露地**



◆おすすめのポイント

- ・作型を組み合わせることで年間を通して収入が得られます。
- ・収穫期間が長いため、作業計画が立てやすい品目です。

◆留意点

- ・湿害に弱く、腐れ(軟腐病)の発生が心配されるので、排水対策に十分注意が必要です。
- ・伸長に合わせた追肥や土寄せが必要で、生育期間も長くなるため、病害虫の発生に注意が必要です。
- ・収穫および調整に時間がかかります。労力に見合った作付面積としてください。

有機栽培のポイント！

①有機JAS登録農薬を定期的に散布

ねぎは在ほ期間が長く、病害虫被害のリスクが高いです。病害は銅剤、虫害はスピノサド剤などで防除しましょう。

薬剤防除に頼らず、病害虫発生初期の発見と、ほ場環境の改善(風通し・排水性の確保)も重要です！

◆作業スケジュール

○：播種、△：定植、■：収穫

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
春ねぎ					○		△					
夏ねぎ		○		△				■	■			
秋冬ねぎ			○		△						■	■
水稻				育苗	田植え				収穫			

◆品目の特徴

★(易・少)

←→

★★★(難・多)

品目	栽培技術	労力	初期投資	収益性	市場向き	直売向き
ねぎ	★★	★★	★★★	★★	★★★	★

◆栽培農家の声

「生育期間中に病害虫の発生はあったが、有機JAS登録農薬による防除で蔓延を防ぐことができ、収穫時は問題にならなかった」

「慣行の栽培と比べて作業の手間はほとんど変わらなかった」

◆使用資材例

肥料: 果菜ちゃん(100%有機肥料)
(成分保証量 N-P-K=5.0-6.0-2.0)
農薬: スピノエース顆粒水和剤
Zボルドー

2026.2.16時点での登録情報に基づき作成。使用に際してはラベルを確認し農薬使用基準を遵守してください。